

## 月間報告書 8月分

学籍番号：                    留学先   ：スペイン   ナバラ大学  
氏名       ：                    留学期間：2019年09月20日 ～ 2020年03月31日  
年次       ：3年次               留学区分：派遣留学  
クラス     ：E02

## I. 受講時間数

8月の教育編は入力がありません

## II. 授業内容

8月の教育編は入力がありません

## III. 生活編

## 1. ビザ・滞在許可書について

ビザ申請は申請してから約1ヶ月ほどで完成するので、ビザを受け取ることが出来る期日を書いてある紙を申請日に受付の方から貰いました。ですが、ビザを申請しに行った日も受け取りに行った日もたくさんの人が順番待ちしていた状態で、私は大使館で約30分待ちました。滞在許可書はスペインは不必要なので書類の用意は必要ありませんでした。

## 2. 入国時の様子について

私は成田空港からマドリードのバハラス空港にスペイン時間の18時50分に到着しました。入国審査への場所の案内は毎日なのかは分かりませんが、日本人の方が「日本人の方はこちらです。」と誘導してくださっていたので迷うことなく辿りつくことが出来ました。そしてスムーズに入国審査は終わり、荷物を受け取る場所へと進み、無事に荷物を受け取ることが出来ました。

## 3. 空港からの交通手段

荷物を受け取り真っ直ぐ目の前へ進み、空港の出口から出ました。そこにはたくさんのタクシーやバスが停まっており、タクシー乗り場へは係員の方が案内されていました。私はその日はマドリードに一泊し、翌日パンプローナに飛行機で飛ぶ予定だったのでタクシーに乗りました。係員の方がいたのでスムーズにタクシーに乗ることが出来ました。空港からホテルまでは約10分ほどで着き、料金は28ユーロ（約3,400円）でした。タクシーの中に料金は20ユーロ（約2,400円）からとの張り紙を見たので、空港からのタクシーは料金が高いということが分かりました。

## 4. パンプローナまでの道のりについて

私が泊まったホテルでは8ユーロ（約960円）支払えば、翌日空港へ送ることが出来ると言われたのでホテルに着いたその日に受付で8ユーロ支払いました。翌日のパンプローナへの便は朝の7時45分発と早朝の便だったので、支払いの時にその事を説明し、空港へ送って欲しい時間を伝えました。ですが翌日、なかなか受付の方が来ず、その場で電話やメールをホテルにしても全く応答がありませんでした。ようやく受付の方が来たのが7時頃で、8ユーロ支払ったレシートを見せ空港へ送ってほしいと伝えたのですが、もう一人お客がいるから待つて欲しいと言われ、私は待つことしか出来ず、そこから約10分待たされ、お客が来たので出発しました。結局、空港に着いたのは7時20分頃でフライトの約20分前でした。飛行機はもう無理だと思ったのですが、一応チェックインカウンターに聞きに行きました。やはり私の乗る予定だった飛行機はチェックイン時間は締め切られていて乗れないと言われました。ですが、空港にいる訳にもいかず、さらにパンプローナでホテルの手配をしており、シエスタの時間があるから12時30分から14時30分までに必ずチェックインしてほしいとのメールが来ていたので、カウンターに今日中にはパンプローナへ飛びたいと伝えたところ、もう今日の便は無いと言われました。ですが、鉄道でもパンプローナへ行くことが出来ると知っていたので鉄道のオフィスの場所を教えてもらい、そこでパンプローナ行きのチケットを買うことが出来ました。パンプローナまでは2回乗り換えがあり、その度にたくさんの人にスペイン語や英語を使って道や乗り方を聞き、無事にパンプローナに着くことが出来ました。パンプローナ駅からホテルまではタクシーで向かいました。料金は8ユーロ（約960円）でした。

5, オリエンテーションについて

同じ学部の留学生15人ほどが教室に集められ、担当の先生の自己紹介の後に留学生の自己紹介をし、その後は大学の敷地内や大学や担当の先生の連絡先の説明がありました。オリエンテーションの内容は以上で、20分程度で終わりました。それからたくさんの留学生と喋り、たくさん友達ができました。

## 月間報告書 9月分

学籍番号：                      留学先   ：スペイン   ナバラ大学  
 氏名       ：                      留学期間：2019年09月20日 ～ 2020年03月31日  
 年次       ：3年次                留学区分：派遣留学  
 クラス     ：E02

### I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Comunicación y Cultura	コミュニケーションと文化	1560	授業
2	The Business of Wine and Gastronomy in Northern Spain	スペイン北部の美食とワインのビジネス	600	授業
3	Gramática conceptual	文法概念	120	授業

### II. 授業内容

#### No.1

教科書や先生が作ってきたパワーポイントを見ながら、スペイン語の感情表現や文法を習ったり、スペイン語の歌と一緒に歌って発音の練習もしています。主にグループワークでの作業が多く、毎回グループでの会話の時間があり、正しいスペイン語を話せているか、積極的に会話に参加し話そうとしているかを先生は見回りながらチェックしています。そして、毎回宿題が出されます。宿題は教科書内から出されたり、自分の旅行の経験について200単語以上で書いてくる、などです。

#### No.2

これは英語の授業で、先生はアメリカ人で、授業は全て英語で行われています。先生が持ってきたスペインの新聞の記事を英訳し、同時にスペイン北部の食文化や有名なワインについて学んでいます。食文化のことから食に対する経済についても少し学んでいます。ですが、主にグループワークが多く、3～4人のグループになりスペインの有名なピンチョスをグループ内で開発（名前、食材など）し、そのオリジナルのピンチョスを学校内のあらゆる人に英語で意見を聞きに行くなどの授業をしています。

#### No.3

スペイン語の文法の基礎である名詞の性別の確認や単数形・複数形の単語の確認を行った後、先生が作ってきたパワーポイントによってクイズ形式で習ったことをみんなで復習します。これらによって文法の基礎が固まったところで100ページほどあるスペイン語の本を毎授業コツコツと翻訳していきます。翻訳だけでなく、主語と動詞の形を把握し、理解する時間も設けられています。そして毎週、その一週間で授業内で感じたことをスペイン語の感情表現を使って3つ以上書くという宿題が出されます。

### III. 生活編

9月から授業が本格的に始まり、はじめの一週間は授業内容、先生、クラスに慣れることで精一杯でしたがその中でもいろいろな人と友達になり、話をする機会が毎日あったので大変ながらも徐々に学校生活に慣れていくことが出来ました。私が取っているスペイン語コミュニケーションのクラスでは日本食や日本の文化が好きな人が多く、日本について話したり日本語を教えたりする

ことで友達になることも出来ました。ナバラ大学の近くに学生団体プロジェクトが企画している旅行会社があり、友達と申し込み、パンプローナからバスでサラマンカとセゴビアを回るツアーに参加しました。総勢で70人ほどで、そこでも友達を作ることができました。ナバラ大学以外の学生もいたのととても新鮮でした。このツアーはとても良い経験と思い出になりました。9月の中旬頃からはすっかりと学校生活に慣れ、放課後は友達とカフェに行ったり、学校でプレゼンの企画を考えたりしています。先生にも顔と名前を覚えてもらっているので出会ったときには私の名前を呼んでくれます。そして「昨日は何してたの？」などの軽い会話も出来るようになりました。私の先生とクラスメイトは優しいので日々スペイン語を楽しく学んでいます。

# 月間報告書 10月分

学籍番号： 留学先：スペイン ナバラ大学  
 氏名： 留学期間：2019年09月20日～2020年03月31日  
 年次：3年次 留学区分：派遣留学  
 クラス：E02

## I. 受講時間数

No.	履修科目 (原語名)	履修科目 (日本語名)	受講時間数 (分)	授業形態
1	Comunicación y Cultura	コミュニケーションと文化	2280	授業
2	Gramática conceptual	文法概念	1080	授業
3	Pronunciación y conversación	発音と会話	1200	授業
4	The Business of Wine and Gastronomy in Northern Spain	スペイン北部の美食とワインのビジネス	1200	授業

## II. 授業内容

No.1  
 教科書の例を参考にしながら2～3人のグループで家具や部屋の配置などを含めた家の構造をal lado deやencima deなどの位置関係の語句を使いながら考え、発表し、どのグループが一番良かったかみんなで比較級と最上級を使いながら意見を出し合いました。他には、絵だけが描かれてある紙が渡され感情表現や副詞、動詞の時制を正しく使いながらグループで絵のストーリーを考えるといった内容でした。授業はグループワークでの話し合いやプレゼンの発表など毎回スペイン語を発声して、学ぶスタイルです。それからパンプローナでの生活や経験を比喻を使って表すという2分間のビデオ作成の課題もありました。この課題は自分で比喻を交えて表現したスペイン語の文章を作成し、その文章をビデオに自分の声で、アフレコで入れなければなりませんでした。2分間スペイン語を話し続けなければならない、たくさんの文章を考えることに苦労しましたが、この機会から、ビデオ撮影の為にパンプローナの様々な場所を巡ることが出来ましたし、相手にスペイン語をいかに分かりやすく伝えるか、流暢に話すコツなど多くのことを学ぶ事が出来ました。

No.2  
 指示形容詞と指示代名詞、中性の指示代名詞を学びました。指示を示す時の距離の違い、場所や物を特定できるか、できないかなどを先生が図と動画を使いながら教えてくださいました。それから過去分詞の不規則に変化する動詞の復習、過去の時制の一致、過去完了など、過去に特化した授業をしました。そしてその習った過去の種類を使って自分の過去の経験を200字以上で文章を書くという内容でした。しかし再帰動詞も使わなければならないので大変でした。授業の最後には必ず、その日習った文法の応用問題を解きます。そして答え合わせの時は一人一人に問題が当てられ指定された問題の答えを発表していきます。分からない時は先生が答えではなく、ヒントを与えてくれるので自分のスペイン語力を使いながら答えを導くことが出来ます。

No.3  
 スペイン語で難しいG, J, Rなどの発音や、話す時のイントネーション、区切る場所などを先生が教えながら発音します。毎回先生の発音に続いて一人一人が発音していき、実際に発音することでスペイン語の発音の基礎を学んでいます。他にも、LとRの違いを聞き分けるリスニングをし、答え合わせの後みんなで実際にリスニングで聞いた同じ単語を発音し、違いを明確にします。それからスペイン人が普段の会話や自然な流れで使う感情表現の語句を習いました。そして習った¿En serio?や¡Ay no!, ¡Jesús!など

を使いながら、ペアワークで1分程度の会話を作り、発表しました。また、スペイン内の方言について習い、アンダルシア語の発音も学びました。

#### No. 4

現在のスペインのレストランなどの食産業についての記事を読み意見を出し合ったり、第一次、第二次、第三次産業の経営のデータを見て、それらから考えられる現状を英語で話し合います。他には3~4人のグループで話し合い作った、新しいピンチョスをどこで売るのが、価格設定、宣伝方法などをパワーポイントにまとめ、グループごとにみんなの前で英語で発表しました。パワーポイントを作成する時も、グループ内でピンチョスの表現方法や誰がどこを担当するかなども英語で話し合い、決めたので授業外で英語を使って調べる時間が多かったです。また、先生がアメリカ人なのでアメリカで人気のフードコーディネーターの動画を見てレストラン経営の厳しさとリスクを学びました。ある日の授業では先生と生徒全員で大学の近くの市場売場に行き、実際の食品の価格の確認や販売方法など自分の国と比べて違う点を見つけるといったこともしました。

### III. 生活編

大学で授業を受け始めて1ヶ月が経ち、学校生活にもだいぶ慣れました。スペイン人の先生がとても優しく、ある授業後、私は分からないことがあったので先生に質問しに行くと、丁寧に、とても親身になって教えてくださいました。スペイン語だけでは理解しにくい内容は英語を使って教えてくださったのでとても分かりやすかったです。大学の先生は生徒にとっても寄り添って、喋り方なども生徒一人一人を考えてくださっているので良い環境で過ごさせています。他にもALSAという高速バスに乗った時、席番号の表示を座席の上を見ながら探していると、それを見た席に座ってたおじいさんが私の肩を叩いて、「下を見るんだよ」と教えてくださいました。それから、私が道に迷った時、バス停でバス待ちしているおばあさんに声をかけて道を尋ねたところ、そのおばあさんが乗るバスが到着してからも丁寧に教えてくださり、バスの出発ギリギリまで親身になって教えてくださいました。私はスペイン人の心の優しさにたくさん触れ、あたたかい気持ちになりました。10月になりクラスメイトとともより仲良くなり、授業終わりに一緒に宿舎の近くまで帰ったり、スーパーに行ったりもしました。学校生活以外では、友達とサンセバスチャンに行きました。パンプローナからバスで約1時間で行くことが出来るので割と近い場所にあります。サンセバスチャンは食の街として有名なのでいろんなものを食べました。パンプローナでは経験することの出来ないことを体験できてとても良い思い出ができました。





## No. 4

レストランを経営する時に起こり得るリスクを経営側、客側などの多方面でのリスクを考えて英語でプレゼンしました。他には先生が提示したワイン二種類を各グループでスーパーで購入し、実際に試飲して、プレゼンする課題もありました。そのワインの風味や香り、どんな食事が合うか、ランチかダイナーのどちらが合うかなどを的確にまとめ、発表しました。さらに、グループごとに今まで考えてきたピンチョスのビジネスプランを10ページ以上で、ビジネスの専門用語、正しい英文法を使って作成し、それを先生がチェックします。その後パワーポイントを作成し、クラスで発表しました。そのプレゼンは10～15分と決められていたので、最低でも一人4～5分は英語でプランを説明しました。

## III. 生活編

11月に入ると本格的に寒くなり始め、朝、学校に登校する時は2°Cや3°Cの日がありとても寒いですが朝の気温は大体7～6°Cです。そして雨の日が多くなりました。加えて、雨の日は突風が同時に発生することが多く、余計に寒く感じます。学校では授業後に先生とクラスメイト全員でカフェテリアに行き、先生が全員分のドリンクを買ってくださり、みんなでスペイン語を使いながらコミュニケーションを取ったり、私のマンションの近くのペットショップのお婆ちゃんと30分近く話したりと、先月よりも積極的にスペイン語を使う機会が増えました。もうだいぶ自分の住んでいる周辺地域には慣れたのでマップを見ずに行動できる範囲が広がりました。パンプローナでの移動手段は徒歩かバスがほとんどなので休日には友達とよく徒歩で色々な場所に行くので、気付けば10キロ近く歩いたりしている日もあります。パンプローナのcentro de ciudadにある有名なchurros con chocolateを友達と食べに行きました。チュロスもですが、ホットチョコレートがとても甘くて美味しかったです。そして意外にも日本食レストランがたくさんあります。でもそれらのほとんどが寿司なので私はパンプローナで2回しか日本食レストランには行ってないです。街を歩けばピンチョやタパスが気軽に食べられる場所が豊富にあります。



## 月間報告書 12月分

学籍番号：                      留学先   ：スペイン   ナバラ大学  
氏名       ：                      留学期間：2019年09月20日 ～ 2020年03月31日  
年次       ：3年次                留学区分：派遣留学  
クラス     ：E02

### I. 受講時間数

12月の教育編は入力がありません

### II. 授業内容

12月の教育編は入力がありません

### III. 生活編

#### 1. 帰国までの過ごし方

今月は授業がありませんでしたが、学校に行き先生に授業についての質問をしたり、先生から勧められたTEDのスペイン語やアンテナ3を家で聞いたりしていました。そして帰国までの間に、同じく派遣留学でスペインのサラマンカとバルセロナにいる外大の友達に会いに行きました。バルセロナはとても活気のある街でどこへ行っても観光客が多かったです。そしてカサ・バトリョ、カサ・ミラ、サグラダ・ファミリアを見に行きました。特にサグラダ・ファミリアは実際見るととても大きく芸術的で、圧倒されました。サラマンカでは友達の家で友達が料理を振る舞ってくれました。そして驚いたことはシティセンターの中にサラマンカ大学があることです。外観は教会のように品があり綺麗で、大学には見えなかったです。友達によると、大学が観光地にもなっているとのことでした。パンプローナを出る前日はパンプローナ大聖堂やシティセンター、城跡やお世話になったスーパーを巡ったりとパンプローナでの思い出作りの日を過ごしました。

#### 2. 帰国日の空港での過ごし方

私の帰国はマドリードのバラハス空港からでした。行きのマドリードからパンプローナへの便を乗ることが出来なかったことがトラウマで早めに空港に着くことにしました。私が利用したイベリア航空はフライトの3時間前に空港に着くようにとのことでしたが、私は恐かったので5時間前に空港に着きました。着いてからはベンチに座ってチェックインカウンターの番号が出るまで待っていました。そしてフライトの3時間前になった頃にチェックインカウンターが発表されたので、イベリア航空を利用される方は空港には3時間半前くらいに着くことをお勧めします。そしてすぐにカウンターへ向かいましたが、年末という時期もありすでにたくさんの人が並んでいました。自分の番が来るまで約20分並びました。私は運良くカウンターの担当者が日本人の方で荷物検査などの手順の流れを詳しく聞くことができ安心しました。そこから荷物検査、出国手続きまでは約40分かかりました。ターミナル4を利用する場合は移動も多く、空港内も広いので時間に余裕を持って行動することは大事だと思います。無事に全ての検査を済ませ、私は空港内の免税店を見たり、お土産屋さんでお土産を買ったりしてフライトまでの時間を過ごしました。

#### 3. 最後に

帰国時の空港内で場所が分からなかった時、スペイン人に尋ねると本当に丁寧に教えてくださりスペインを出る最後の最後まで優しくしてもらったので帰国したくない気持ちが大きかったです。私は今回が初めての留学で、最初に色々な困難が続いて毎日泣いて、この留学に意味があるのかと考えたときもありましたがその困難の倍、新しい友達や楽しいこと、日本で味わうことの無かった経験を経験をすることができ、留学して良かったと思いました。考え方が少し客観的になった気がしますし自分の世界観が広がったと思います。またパンプローナに戻りたいです。